

## 平成29年度 狭山市立笹井小学校 学校関係者評価表

※ 学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方針について評価する。

※ 【評価の目安】

- A : よくできている。 (90%以上)
- B : 概ねできている。 (85%以上)
- C : あまりできていない。 (70%以上)
- D : できていない。 (70%未満)

領域	番号	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員から 評価(文章表記)
			評価	説明	
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。	A	・校長の経営方針のもとに職員が一人一人経営参画意識をもって「チーム笹井」として学校運営が進められた。	・学校経営の重点がわかりやすく、学校全体でよい方向に向けようとする雰囲気伝わっている。 ・校長先生がおっしゃるよう先生方の見通し(めあて)が更に必要。 ・学校方針が明確で、時にふれ説明されているのがよい。 ・教職員の子供に対する指導が意欲的に感じられる。 ・職員間で学校教育目標や学年教育目標等が共通理解されていると思う。 ・さまざまな規則や不自由な部分をやりくりし、工夫を凝らした内容が見え、積極的な姿勢が顕著であり、児童がひきつけられている授業態度が見られる。
	2	児童は、学校生活が楽しいと感じている。	B	・学校全体として保護者から評価が高いと感じている。	
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	B	・学校、学年、学級経営で共通課題と共通認識をもち、足並みを揃えて取り組んでいた。	
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。	A	・施設設備の瑕疵による事故は今年度もなかった。全職員が常に高い意識で安全点検を行った成果である。	
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。	A		
学習	6	教師は、児童が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	B	・すべての学級で落ち着いた雰囲気での授業が実施されている。 ・「気づく力」「読み取る力」の育成が学力の向上ととらえ、ベテランが若手を育成してきた。	・どのような教科でも国語力がなければ深まりません。繰り返しよい文章に触れさせてください。 ・毎朝のメッセージには無駄な言葉のないよい文章を児童に示せるよう先生方も頑張ってください。 ・我々は日本語を用いて読み、書き、考えるのですから、是非言葉を大切にしてください。 ・算数への取り組み等は懇切丁寧であり、よく理解していると思われる。今後も継続を願います。
	7	児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。	A	・家庭学習については、低学年は宿題で繰り返しの基礎基本の定着、中学年は自主学習と宿題を適宜取り入れ、高学年は多くを自主学習にしている。	
	8	児童は、基礎的基本的な学力を身につけている。	B		
	9	児童は、家庭学習の習慣を身につけている。	C	・自ら進んで主体的に学習に取り組めるように指導方法を工夫する必要がある。	
	10	児童は、英語活動をととして積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	B		
規律ある態度	11	児童は、進んであいさつをしている。	C	・あいさつについては、登下校、校内ともにまだ不十分ととらえているので、年間計画の中に組み入れ、学校全体、学年・学級で指導している。	・運動会を拝見した。上級生を中心にどの学年も意欲的に取り組んでいた。やれば力を発揮できる子供たちである。(教職員が一つの目標に向けてと丸となって取り組めばそれに応える子供たちであると感じた) ・教師の一部の方に、来校者にあいさつをしつかりとやらない。姿勢悪く校外を歩く、袖を伸ばして手を入れるなどの意識の低い方が見られます。 ・常に規範意識を持って職務にあたるようご指導願います。 ・場面にもよります。朝のあいさつはだんだん口が重たくなったような気がします。 ・きまりをまもめることは集団と個人との場合で異なります。(個人<集団) ・挨拶については改善が見られない。 ・教師の態度は一部目につく。ポケットに手を入れて廊下を歩く男性の若い教師は全く直す気配を感じられない。今一度指導していただきたい。
	12	児童は、場に応じた言葉遣いができている。	B	・毎月の生活目標を児童にわかりやすく提示して評価もしている。	
	13	児童は、時間を守って生活している。	B	・朝会等、全員が集まる場では静かな態度で待ち、聞くことができる。 ・基本的生活習慣に関して保護者と密に連絡を取って取り組んでいるが、引き続き定着・改善に向けて指導に力を入れていく必要がある。	
	14	児童は、きまりを守って生活している。	A		
	15	教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。	B		
健康・体力	16	学校は、児童の体力を高めている。	A	・本校の体力課題である「握力」を重点として体育の授業を中心に発達段階に応じた取り組みを年間を通じて実施した。	・芝生広場や広い運動場で伸び伸びと遊んでいる児童が多い。 ・教員が運動だけでなく、生き生きタイムなどの保健指導にも力を入れている。 ・できない科目課題については再テストのチャンス設けるなどして、苦手を克服させようと努力されていることなどから、児童のやる気を奮い立たせており、とても良い指導をされていると思う。
	17	児童は、体育や外遊びに意欲的に取り組んでいる。	B	・保健学習「生き生きタイム」等への関心が高まりつつある。	
	18	児童は、健康を意識した生活をしている。	B		
地域との連携	19	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。	B	・地域、PTAの協力が大変多く、良好な関係が保たれている。 ・今後もHPや学校だよりを通して学校の教育活動を発信していきたい。	・交通安全指導を通して、地域が大変協力的であると考えている。 ・家庭との連携をよくとっているところが感じられ非常によい。 ・学校に関心が向かない保護者にアプローチしていけるよう体制をとっていただければと思います。 ・校長先生が交代しても、地域との連携を大切にされており、ありがたいことであると感謝します。
	20	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。	A		